

氏名	徳増 一樹
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 6695 号
学位授与の日付	2022 年 9 月 22 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Processes of increasing medical residents' intrinsic motivation: a qualitative study (研修医の内的モチベーション上昇のプロセス：質的研究)
論文審査委員	教授 頼藤貴志 教授 増山 寿 教授 片岡仁美

#### 学位論文内容の要旨

本研究の目的は、臨床研修医が臨床研修の場で学習・労働に対する内的モチベーションを上げるプロセスを質的に明らかにすることである。

内的モチベーションに関する研究参加者の経験や視点を深く掘り下げることが目的とした半構造化インタビューを実施した。筆者らは、7名の日本人臨床研修医にインタビューを行い、逐語録を作成し、steps for coding and theorizationという手法で解析した。

外的刺激（自己が意思決定する環境、同世代のロールモデル）が、研修医の内的モチベーション上昇への認知過程（ギャップ認識、気づき、内面化）を引き起こしていた。このプロセスでは、研修医の自律性・責任感・主体性の自覚が重要な役割を果たした。さらに、心理的な有能感も内的モチベーションを強めた。主治医からの肯定的なフィードバックや承認、患者からの感謝も研修医の有能感を促進した。このプロセスの第一段階が外的要因であるため、適切な研修環境設計により研修医の内的モチベーションを高められうる。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、臨床研修医が臨床研修の場で学習・労働に対する内的モチベーションを上げるプロセスを質的に明らかにすることを目的とし、研究者らは半構造化インタビューを実施した。研究者らは、7名の臨床研修医にインタビューを行い、逐語録を作成し、steps for coding and theorizationという手法で解析した。結果として、外的刺激が、研修医の内的モチベーション上昇への認知過程（ギャップ認識、気づき、内面化）を引き起こしており、そのプロセスでは、研修医の自律性・責任感・主体性の自覚が重要な役割を果たしたことを示した。

委員からは、対象者の選択の仕方、面接の仕方、先行研究との関連性などについて質問があり、適切に回答した。

本研究は、質的研究方法論を用いて、臨床研修医の内的モチベーションを上げるプロセスについて、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。